



11月に入り、落ち葉が風に舞うようになり、寒さが身に染みる季節を迎え、冬の足音がもうすぐそこまで来ております。今月はふるさと産品給食の日があり、県内各地域の地場産物が学校給食で登場することになります。必ずしも好天に恵まれた年ではありませんでしたが、故郷の恵みを味わいながら、今年も残すところ2か月ですので元気に過ごして新たな年を迎えたいものです。

平成29年度学校給食献立コンクール

10月12日(木)に青森県庁で一次審査が行われました。

審査の結果、2次審査(調理審査)への出場は以下の小学校5チーム、中学校4チーム、特別支援学校1チームの計10チームとなりました。

なお、2次審査は11月18日(土)に県学校給食会で開催されます。

学校名	チーム名	学校名	チーム名
青森市立 三内西小学校	木村名人と仲間たち	板柳町立 板柳中学校	いたチュッパチャップス
青森市立 浪岡南小学校	地産地消グループ!!	弘前市立 第三中学校	体に happy
鶴田町立 鶴田小学校	男女トリオ	十和田市立 十和田湖中学校	十和田の乙女
むつ市立 川内小学校	川内ファイヤー	五戸町立 五戸中学校	五戸カラフル女子
五戸町立 上市川小学校	上小チームA	青森県立 八戸盲学校	南部のアスリートだすけ

第1回学校給食用パン品質調査会

10月26日(木)に学校給食会研修室で行われました。

東北農政局青森県拠点、県教育委員会、県学校栄養士協議会、県学校給食会と、東北製粉協同組合より検査官に武山 照憲氏を迎え、11名で学校給食用食パン及びコッペパンの品質調査が行われました。

今回の判定結果は、食パン・コッペパン共に前回と比較して概ね評価が良く、総合的には高い評価となりました。ただ一部の検体では発酵不足・ミキシング不足と思われるものがありました。

検査官からは、「形・焼き色が均一でとてもきれいに仕上がっており全体的に非常に良くなっているが、一部の検体で水分が少なく生地が伸びきれないものがあるので、水分調整とミキシング、発酵時間に十分気を付けて製造をお願いしたい。」との助言を頂きました。

今回の調査結果と併せて、検査官から伺った具体的な評価等を各パン工場に通知し、さらに評価の低かった検体を製造した工場には改善すべき点を伝え、今後の学校給食用パンの品質向上に努めて参ります。

